

## 母親及び家族の喫煙が子供の健康に及ぼす影響について (分担研究:居住環境と子どもの健康に関する研究)

永田 憲行<sup>1)</sup>、服部新三郎<sup>2)</sup>、松田一郎<sup>3)</sup>

**要約：**母親、父親の喫煙が及ぼす子供のからだ、心の健康問題についてアンケート調査を行った。今までの報告と同様に気管支炎をはじめとする呼吸器疾患、鼻咽頭、眼などへの急性刺激症状に有意の関連が見られた。父母の喫煙のうち、特に母親の喫煙が子供の問題行動とも有意に関連することが判明した。しかし、一部の問題行動は母親の性格がより強くかかわっていた。

**見出し語：**喫煙、受動喫煙、問題行動

【目的】喫煙の健康に及ぼす影響は、喫煙者のみならず、周囲の非喫煙者にも、受動喫煙によって、健康障害をひきおこす事が明らかにされている。

一方、わが国の女性の喫煙率は、平成4年で13.3%、生殖年齢にあたる20歳代の喫煙率は20%となっており、20歳代と30歳代の喫煙率の増加がみられている。そこで、母親および家族の喫煙が子供の身体面やこころの健康にどのように影響しているかを調査し、検討を加えた。

【調査対象及び方法】平成5年8月1日から31日の間に熊本県5、北海道1の小児科を受診した母子730人と、熊本市内19カ所の保育園児

1054人合計1784人である(男915人、女844人、不明25人)。年齢は3歳未満が463人(26%)、3~6歳940人(52.7%)、6~12歳277人(15.5%)、12歳以上が51人(2.8%)であった。

アンケートは質問紙法を用い、選択及び記入式とした。内容は ①出生体重、②乳児期栄養、③家族の喫煙状況、④子供の健康状態、⑤子供の問題行動(3歳以上)；母親、保母記載、⑥母親に対するモーズレイ性格検査である。

### 【結果及び考察】

1) 母親の喫煙：妊娠前喫煙していた母親

<sup>1)</sup> 熊本大学教育学部(Faculty of Education, Kumamoto Univ.)

<sup>2)</sup> 熊本大学医療技術短大(Kumamoto Univ, College of Medical Science.)

<sup>3)</sup> 熊本大学医学部小児科(Dep. of Pediatrics, Kumamoto, Univ.)

379人(21.2%)から、妊娠中喫煙は172人(9.6%)と妊娠を契機に禁煙するものが半数であった。しかし、禁煙者の約50%が産後1年以内に、喫煙を再開していた(表1)。妊娠中の胎児に対する影響の認識に比べて、受動喫煙、母乳を通してのニコチンの子供への影響についての知識の不足が示唆された。喫煙者はどの性格にも見られたが表2に示すように、非喫煙群に比べてE(外向)得点、N(神経質)得点が有意に高かった( $p<0.01$ )。E得点の高い人は興奮を、N得点の高い人は鎮静を目的に喫煙していると考えられた。妊娠中も喫煙を続行した群は禁煙群に比しN得点が高く、神経質な母親は妊娠中の情動不安解消のため、たばこに頼ることにより精神的安定を保持していると思われた。

2) 他家族の喫煙：母親が妊娠中に喫煙していた父親は1166人(65.4%)、現在も喫煙しているのは1050人(58.9%)とわずかであるが、子供の誕生をきっかけとして喫煙者が減少していた。そのほかの同居家族では206人(複数家族の42%)であった。喫煙場所は居間が最も多かった。

3) 家族の喫煙と出生体重：喫煙は子供の出生体重に影響を及ぼしていた。表3に示すように女子において両親喫煙群、父親喫煙群の順で非喫煙群に比し有意に小さかった。また一日の喫煙本数が多いほど低出生体重児の出生率も高くなる傾向にあった。

4) 家庭内喫煙による子供の体への影響：表4に示すように気管支炎、肺炎、気管支喘息などの呼吸器疾患や眼、咽頭などへの急性刺激症状との間に有意の関連が見られた。喫煙者のいる家庭で

の喫煙場所は約50%が居間で、しかも60%以上が子供がそばにあり受動喫煙を受けやすい状況にあることから、家族の喫煙は子供の体に影響を及ぼすと考えられた。

5) 家族の喫煙と子供の問題行動：3歳以上の子供について、表5に示すような問題行動について喫煙との関係を検討した。母親の喫煙は妊娠中、現在とも「集団の中での悪行」( $p<0.05$ )、父親の喫煙は「過動傾向」に、他家族の喫煙は「おどしたり、暴力を加える」( $p<0.05$ )、「気性が激しく、かんしゃくもち」( $p<0.01$ )、「集団の中での悪行」( $p<0.05$ )との間に関連が見られた(表5)。保育園児での母親と保母の子供の問題行動についての観察の差は「注意を素直に聞かない」のみであったことから母親の観察にも客観性が認められた。次に子供の問題行動については母親の性格や、性別、年齢などが関係していると考えられたので林式数量化2類を用いて検討した。表6に示すように「ひとの活動を妨害する」の場合、母親の性格に次いで母親の喫煙(妊娠中、現在)が年齢、性別と同程度に影響を及ぼしていた。

#### 【まとめ】

家族の喫煙、特に母親の喫煙は子供の身体面だけでなく、問題行動とも関連が見られた。今後子供の精神衛生に対する影響も女性に対する喫煙防止教育の中で行う必要があると考えられた。

#### 研究協力者

荒尾市民病院

和田淑郎,

八代総合病院

林田 滋,

山鹿市立病院

上原正彦,

水俣市立総合医療センター 菅博明  
 前田小児科 前田利為  
 平島小児科 平島要一  
 千歳市立病院 羽田 明  
 熊本大学教育学部 岩下久美  
 古賀久美子  
 柴作由美  
 熊本大学医療短大 牛島範子  
 山内布美子

表1 母親、家族の喫煙状況

		人数			人数	
A) 母親	妊娠前喫煙あり	379 (21.2%)	D) 父親	母妊娠中あり	1166 (65.4%)	
	妊娠中喫煙あり	172 (9.6%)		現在あり	1050 (58.9%)	
	1-9本	114		1-9 本	591	
	10-19本	40		10-19 本	335	
	20- 本	3		20- 本	94	
	不明	15		不明	30	
	現在喫煙あり	342 (19.2%)		E) 妊娠中の喫煙		
	1-9 本	203		両親あり	147	
	10-19本	105		父のみ	999	
	20- 本	12		母のみ	9	
不明	22	両親なし	555			
			不明	70		
B) 出産後喫煙開始時期			F) 他家族喫煙あり	206	(複数家族の42%)	
6カ月以内	132 (38.6%)					
6-12カ月	55 (16.1%)					
12カ月以上	113 (33%)					
不明	42					

表2 母親の現在喫煙の状況とENLの得点

	喫煙(218人)	非喫煙(771人)	有意差
E得点	33.5 ± 22.5	28.5 ± 10.7	**
N得点	16.8 ± 10.6	14.1 ± 10.1	**
L得点	13.9 ± 5.5	14.8 ± 6.0	*

[\*\*]… 1%で有意 [\*]… 5%で有意

母親の妊娠中喫煙の状況とENLの得点

	喫煙(106人)	禁煙(144人)	有意差
E得点	31.9 ± 9.1	34.5 ± 31.6	
N得点	17.5 ± 10.8	14.8 ± 10.4	*
L得点	14.0 ± 5.4	14.3 ± 5.4	

[\*]… 5%で有意

表3 家族の喫煙と出生体重

性別	妊娠中喫煙あり	人数	出生体重 (g)
男	両親あり	62	3126±501
男	母親のみ	5	3016±309
男	父親のみ	483	3158±485
男	両親なし	279	3154±431
女	両親あり	68	2906±429
女	母親のみ	4	2407±999 **
女	父親のみ	450	3054±447 **
女	両親なし	235	3132±412 *

\*\* p<0.01 \* p<0.05

表-4 家族の現在喫煙と子供の健康のオッズ比

	母親現在喫煙	父親現在喫煙	他家族現在喫煙
風邪をひきやすい	0.74	0.88	1.033 ◀
よく痰をする(風邪ひき)	1.023 ◀	1.037 ◀	1.022 ◀
よく痰をする	1.007 ◀	1.024 ◀	1.004 ◀
喘鳴がある(風邪ひき)	1.008 ◀	1.004 ◀	1.007 ◀
喘鳴がある	0.99	1.015 ◀	1.013 ◀
痰がからむ(風邪ひき)	1.013 ◀	1.022 ◀	1.030 ◀
痰がからむ	1.043 ◀	1.026 ◀	1.014 ◀
気管支炎	0.82	1.001	1.052 ◀
喘息様気管支炎	0.85	1.022 ◀	0.91
気管支喘息	0.82	1.003 ◀	0.88
肺炎	1.032 ◀	1.034 ◀	1.050 ◀
その他の胸部呼吸器疾患	1.050 ◀	1.045 ◀	3.020 ◀
耳だれがある	1.012 ◀	1.009 ◀	1.001 ◀
目がしばしばする	1.011 ◀	1.020 ◀	1.039 ◀
喉がいがいがする	0.75	1.004 ◀	1.003 ◀
鼻がつんとする	0.67	0.62	1.039 ◀

◀ 相対危険率1.00以上を示す

表-5 家族の喫煙と子供の問題行動

	母親妊娠中	母親現在	父親妊娠中	父親現在	他家族
おどす・暴力を加える					*
気性が悪しくかんしゃくもちである					**
ひとの活動を妨害する					
きまりを無視する					
集団の中での悪行	*	*			*
運動傾向				*	**
注意を素直に聞かない					
欲求不満をうまく処理しない					
その他の情緒不安定					

[\*\*]...1%で有意 [\*]...5%で有意 [ ]...有意差なし

表-6 ひとの活動を妨害するのレンジ表

順位	アイテム名	レンジ
1位	母親の性格	0.2974
2位	子供の年齢	0.1177
3位	母親の現在喫煙	0.1123
4位	母親の妊娠中喫煙	0.1053
5位	子供の性別	0.0994
6位	子供の出生体重	0.0822
7位	乳児期栄養	0.0525
8位	母親の妊娠前喫煙	0.0469
9位	両親以外の家族の喫煙	0.0415
10位	父親の母親妊娠中喫煙	0.0193
11位	父親の現在喫煙	0.0172



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:母親、父親の喫煙が及ぼす子供のからだ、心の健康問題についてアンケート調査を行った。今までの報告と同様に気管支炎をはじめとする呼吸器疾患、鼻咽頭、眼などへの急性刺激症状に有意の関連が見られた。父母の喫煙のうち、特に母親の喫煙が子供の問題行動とも有意に関連することが判明した。しかし、一部の問題行動は母親の性格がより強くかかわっていた。